

## 平成28年度 第1回古賀市文化芸術審議会議事録

日 時：平成28年5月31日（火）10時00分～12時00分  
場 所：市役所第1庁舎4階第2委員会室  
出 席：審議会委員 緒方泉会長、中山早由利副会長、加藤潤二委員、坂崎隆一委員、  
志賀満江委員、白石建藏委員、西野宏委員、米倉小夜子委員

行 政 中村隆象市長、長谷川清孝教育長  
事 務 局 清水万里子教育部長、星野美香文化課長、木村眞由美歴史資料館長、  
金子由美子文化振興係長、文化振興係田中音羽主事

欠 席：審議会委員 古賀弥生委員、結城俊子委員  
傍聴者：なし

### 配布資料

①レジュメ②古賀市文化芸術審議会委員名簿③古賀市文化芸術振興条例④古賀市文化芸術振興条例施行規則⑤古賀市文化芸術審議会運営規程⑥古賀市文化芸術審議会の会議の公開等について⑦傍聴要領⑧平成28年度文化芸術に係る事業一覧⑨「笑顔のつどい」のチラシ

（司会：金子文化振興係長）

- 1 開会の言葉（清水教育部長）
- 2 委嘱書交付（中村市長）  
席順に一人ずつ市長より手渡しで委嘱書を交付
- 3 市長あいさつ

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ文化芸術審議会にお集まりいただきありがとうございます。前期のときに、古賀アートタウン構想というものを立ち上げまして、結果的には、理解、賛同を得られず、中途半端に終わったことがあります。その当時は、財政再建ということもありまして、補助金を減額したり、職員の給料を減額したりと、厳しい状況にありまして、アートでは飯を食えないと言われたこともありました。时期的にも良くなかったと思います。その中で、アートウォールとかアート看板、公共施設に絵を飾るとか、一点美術館とかやれることはやってきました。それらについては、今でも続いているものもございまして、新たに市長になる前からこの古賀市のアートタウンに対する思いは変わっておりません。それといっても、なかなかやり方につきましては考えあぐねているところでもあります。今は古賀駅をきれいにすることを目的としまして、2階の通路も廊下の壁を少しだけきれいにしました。市の掲示板が2つありますけど、その管理をきちんとすることや、空間があったところには古賀市の観光案内の看板を6枚ほど、殺風景な風景を少しでも華やかにしたいと飾りました。また、階段の壁を利用して絵も展示したいと考えております。古賀駅そのものの大改造は難しゅうございますが、現在市で出来ることはやろうと職員にも呼びかけているところでもあります。また、交流館が出来上がりましたあかつきにはおそらく、壁とか空いた空間に絵や彫刻を飾ることになると思います。そのことについてこの審議会において、正式にご協議いただくことはないと思いますが、ご意見、ご教授いただければありがたいと思っております。まだまだ古賀市にはかなりの美術品が使われずあります。そういうものもフルに活用して、交流館をはじめ、公共的なところにおきましては、美術品を展示することも出来ると思います。破損や盗難などご心配されることもあると思いますが、私はボストン美術館方式でいけと言っております。アメリカのボストン美術館は、相当高額な絵画を飾ってありますが、ガラスケースに入れてお

らず、その気になれば触れるような状況で飾ってあります。それはきちんと鑑賞者の常識で守られて、今まで不祥事が起こったことも聞いておりませんし、そのような方式でいければと思っております。本審議が終わった後、最後の時間を使って、委員の皆様のご意見をいただき、今後の古賀市の文化芸術振興のためにいかしていきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

#### 4 教育長あいさつ

委員の皆様におかれましては、日ごろから計画等の進捗管理をしていただきまして感謝申し上げます。先日、文化協会さんのほうが中心となって芸術祭が行われました。この振興計画にもおこすというキーワードが書かれています。朝から最後の演目まで見させていただきました。古賀市の方の誇りをおこす、あるいは、市民の方が持っている文化芸術の素地を興すにふさわしい芸術祭ではなかったかなと思います。習字、陶芸、お花、お茶、ステージでの発表等本当に素晴らしいものを見せていただきました。これが30回を迎えるということで、まさに古賀の文化を支えている、古賀の誇れるイベントであると思います。また、生涯学習センターの工事については、ご迷惑をおかけしておりますが、いよいよ完成が近づいてまいりました。備品の納入をしたり、事務所の移転をしたり、8月2日から市民の皆様に使っていただけるようにしております。文化芸術の発信の場所、あるいは基地として、県内には60市町村ありますが、6万人の市としては誇れるものが出来ました。今後はさらに内容の充実を求められるのではないかなと思いますし、そこに集われる方々のために素晴らしい部屋を用意しております。思う存分文化芸術の営みを、生涯学習センターに限らず市内各所で行っていただければと思います。今日は第1回目ということで年間の実施計画の説明等もさせていただきますけども、お昼前までそれなりの時間になろうと思いますが、ご審議、ご指導等よろしくお願ひいたします。

#### 5 自己紹介

席順に沿って自己紹介。

#### 6 会長・副会長の選出

古賀市文化芸術振興条例施行規則第2条第1項の規定により、会長及び副会長を互選。立候補・推薦がなかったため、事務局より会長に緒方委員、副会長に中山委員を推薦。拍手にて承認。

#### 7 議事録署名委員の選出

古賀市文化芸術審議会運営規程第4条第2項の規定により、議事録署名委員を1名選定。立候補・推薦がなかったため、事務局より志賀委員を推薦。拍手で承認。

#### 8 確認事項（以下、進行は審議会会長）

- (1) 古賀市文化芸術審議会運営規程並びに会議の公開等について（説明：星野文化課長）  
ご説明いたします。お手元のほうに文化芸術振興条例及び施行規則、運営規程、会議の公開等について、傍聴要領をお配りしております。新任の委員の方もいらっしゃいますが、本日の説明につきましては、昨年度からの変更点のみとさせていただきます。古賀市文化芸術振興条例施行規則をご覧ください。同規則第6条 審議会の庶務は、これまで、教育部生涯学習推進課において処理してはなりましたが、今回の機構改革により4月から担当課が文化課に変更となりましたのでお知らせいたします。この施行規則以外の条例・規程等につきましては、特段変更はございませんので、今回はご説明を省かせていただきます。また、お配りしました「会議の公開等について」「傍聴要領」の規定に基づきまして、本審議会の会議は原則公開となっております。本日は、現在のところ傍聴の申し出がございませんことをご報告いたします。

- (2) 古賀市文化芸術振興計画並びにアクションプランについて（説明：田中）  
ご説明させていただきます。古賀市文化芸術振興計画並びにアクションプランについて、本計画は古賀市文化芸術振興条例の理念に基づき、市民・団体・行政が一体となって、ともに文化芸術の振興を行っていくための基本的な方向性を示したものです。本計画並びにアクションプランは、平成26年3月に策定いたしました。それまで約4年をかけて、歴代の審議委員の方々にご尽力いただき、審議会作業部会を立ち上げ、文化芸術団体へのヒアリングやアンケート調査等を実施いたしました。策定前には関係団体への説明で意見聴取を行うなど、多くのご意見、ご協力をいただき、完成の運びとなりました。お手元のアクションプランをご覧ください。1ページ開いていただきますと、子どもから大人まで誰が見てもわかりやすいように、写真やイラストを使って、計画について解説しています。右側のページをご覧ください。本計画は、文化芸術をいかして人やまちを元気にすることを目的とし、個性を起こし、新しい魅力を興し、誇りをおこすという3つのおこすをテーマにしています。植物が育っていくように、環境づくりで豊かな土壌をつくり、本計画を真っ直ぐ方向性を示す茎とし、しっかりと施策の葉を広げ、個性豊かな誇りの花を咲かせることをイメージとしています。また、最後にはそれが種となり、次世代へとこの循環を繰り返していけるよう努めてまいります。さらに両開きに開いていただきますと、一番左に計画の概要を、真ん中には計画の内容をさらに具体的にした実行計画を掲載しております。この計画は平成26年度から平成35年度の10年計画となっております。前期5年、後期5年とし、平成28年度は前期計画の3年目となっております。平成30年度には後期のために、アクションプランの見直しを行うようになります。その際は、委員の皆様のご協力が必要となりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 9 報告事項

- (1) 今年度の実施施策について（説明：田中）

説明させていただきます。お配りしております文化芸術関連事業年間カレンダーをご覧ください。市全ての事業ではありませんが、現時点で日程がわかっている教育部の文化芸術関連事業を中心に掲載させていただいております。事業数がかなりあるため、今年度新しく文化振興係で実施する事業のみご説明させていただきます。文化振興係において、文化協会に委託している事業の一つであります「文化講演会」を今年度新しく実施いたします。本事業は糟屋郡1市7町と福津市、宗像市の文化協会で構成された福岡Iブロック協議会が主催しており、平成27年度より開始した新しい事業となります。各市町村を開催地とし実施しており、平成28年度は古賀市が開催地となっております。日程につきましては、9月17日土曜日13時30分からリーパスプラザこが交流館の多目的ホールで、「船原古墳」をテーマに福岡大学人文学部歴史学科の桃崎祐輔（ももさきゆうすけ）教授を講師としてお招きし、開催いたします。ぜひご来場いただければ幸いです。

## 10 その他の事項

- (1) 笑顔のつどいについて（説明：田中）

第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい～つながり・ひろがる時が来た！～についてご説明させていただきます。日時につきましては平成28年8月7日日曜日、10時から12時を予定しております。場所はリーパスプラザこが交流館多目的ホール。内容としてはアトラクションとしての活動発表と実践報告を予定しております。

（説明：生涯学習推進課 野田）

日時につきましては平成28年8月7日(日)の10時から12時、場所は新しく8月2日からオープンしますリーパスプラザこが交流館多目的ホールで行います。今年3年目となりますが、日ごろの活動発表として学校の枠を超え市全域の小学校3年生から中学校2年生までが所属しておりますビックバンド古賀キッズブラス、古賀市介護予防支援センターふれあいセンターりんで、月に2回活動されているりんコールが発表します。また、活動に関わっている方々が資料を持ちよって活動を報告をされます実践報告として、古賀市の7つの校区コミュニティとして防災訓練、清掃活動、子ども放課後広場などを行っておられます古賀東校区コミュニティ協議会、同じ志を持った人々が集い、グリーンパーク内での森作りや園芸活動をされておられます緑のまちづくりの会、また、坂崎委員も携わっておられますが、古賀東中学校で行われております朝勉&朝弁活動や、地域が行う学習塾のミニミニ塾など、保護者、学校、地域が協力し、子どもを育てる活動をしておられます古賀東中学校 PTCA 学力向上支援委員会、以上の5団体の方々の発表、報告がございます。古賀市にこんな人がいたんだ、こんな活動があったんだと新しい出会いがたくさん生まれることを期待して行いますので、どうぞご来場ください。

(緒方会長)

他に事務局からありませんか。

(事務局)

次回審議会は、平成27年度の事業報告、歴史資料館に係る要覧の承認等について8月に開催予定としております。また、委員の方からご要望があり、8月2日に新しくオープンします交流館、この審議会では生涯学習センターという名称で紹介させていただいておりました建物の見学会を、8月の審議会終了後に、希望される委員のみご参加いただく形で行いたいと考えております。見学会の参加希望の有無につきましては、改めて各委員に確認をさせていただきます。今年度の審議会開催スケジュールとしましては、年間4回を予定しており、次回8月の次は、10月に次年度予算について、2月に来年度の実施計画等について、開催予定としております。昨年度は5月、10月、2月の3回の実施となっておりますが、今年度より機構改革に伴い、歴史についても本審議会でご協議いただくことになりました関係で、先ほど申し上げました歴史資料館に係る要覧の承認が8月時点で必要となりますので、今年度より4回、開催させていただくことになりました。委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、開催回数が増えるのは大変なご負担かと存じますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。次回8月の審議会について、23日(火)曜日午前中、または30日(火)曜日午前中で実施できればと考えておりますが、委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

(緒方会長)

皆様のご都合いかがですか。

(事務局)

候補日での実施が難しそうなので、後日改めて事務局より日程調整をさせていただきます。

(緒方会長)

以上でよろしいですか。機構改革後、初めての審議会がありました。これはお願いなんですけど、予算要求についてはこのアクションプランに沿って要求していくことになると思います。今後事業の説明をするときは、アクションプラン、事業計画のどれに沿って予算要求していったその結果実施が叶ったという事業の説明をしていただけ

ればと思います。先ほど市長からお話があったように、職員についてもこのような振興計画に基づいて予算を獲得するという、他の課も含め、振興計画の意味をしっかりとらえながらいけば、市長が進めたい施策についての理解も進んでいくのかなと思います。今後の事業の取り組みについては、振興計画に基づきながらということの前振りですと、より浸透するのかなと思いますので、よろしくお願いします。

(西野委員)

事務局にお願いします。今回初めて参加しましたが、もし可能であれば、これらの資料を事前に送って、一読くださいというメモなりをつけていただけるとありがたいなど。こういう資料があれば、早めにいただけると、勉強の足しになるなと思いました。

(事務局)

次回からはなるべく案内のご通知をお送りする際に、同封できればと思います。

## 1 1 閉会のことば (星野文化課長)